



羅針盤

保護者向け

進路だより

平成30年5月1日

進路指導部

先月のPTA総会に多数のご参加ありがとうございました。

総会后、行われた保護者向け進路講座の一部と保護者の方からご質問があった内容についてまとめました。ご家庭で進路についてお子様とお話される際に参考にしてください。

進路講座

(講師：NPO法人進学支援の会 加藤 勝 氏)

Q1. 学費を考える上で注意することは？

A1. 入学金だけではなく、授業料や諸費、一人ぐらしの費用などトータルでいくらかかるかを知ることが大切。初年度だけでなく、在学期間の数年分を計算して、トータルを把握する。1年次からオープンスクールに参加して、現実的な数字をチェックしていきたい。入学金などは(高校と違い)合格通知のあと1～2週間以内に納入することになるので、3年次の秋の段階でまとまったお金が必要になるので要注意。

Q2. できるだけ経済的負担が軽い形で、進学を考えたいのだが…。

A2. 社会で必要とされる職種であれば、その業界や(進学卒業後の)就職先による条件付の給付型の奨学金制度がある。例えば看護師、介護福祉士、自動車整備士、作業療法士、理学療法士、歯科技工士、測量士など。地方自治体の奨学金もある。また、各校の特待生にチャレンジするなどの方法や「夜間」コースを検討することも視野に入れて。こういった情報をしっかり集めていくことで選択肢が広がる。

Q3. 日本学生支援機構の奨学金は、他のローンなどとの点が違うの？

Q3. 第1種であれば、利息がつかない。利息がつく第2種も卒業して返し始めてから利息がつく仕組みになっている(つまり卒業後すぐ返した分には利息がつかない)。どちらの制度も条件に合えば、基本的に全員受けられる仕組みになった。

Q4. 第1種奨学金に申し込むには？

A4. 評定平均3.5以上が条件。3年の春に申し込みをする。申し込みをしておいて、あとから就職に変更してもOK。キャンセル料などない。申し込み案内は5月予定。

Q5. 奨学金はいつ振り込まれるの？

A5. 入学後の5～6月となるので、(Q1のように)入学金のタイミングには間に合わない。なので、入学金納入の段階で費用を借りなくてはいけない場合は、事前にろうきんや国の教育ローンの事前審査を受けておくことが大切。事前審査には時間がかかるので、早めに。

Q6. 奨学金が家庭の事情で返せなくなったらどうなるの？

A6. 放置せず、手続きをすることで、猶予・減額が可能となる。

Q7. 給付型はないのか？

A7. 住民税非課税世帯が対象となっている。
日本学生支援機構奨学金HPに説明あり。

Q8. 就職活動にどれくらいお金がかかる？

A8. 運転免許（およそ30万円。兄弟割引も4～5千円程度。学割もそれほど大きくはない）や車両代が必要になる可能性がある。自宅外での就職となると、引っ越し費用も必要（単身パックを使っても1～3万。荷物量・距離によってさらに増額）。一人暮らしとなると、家賃が帯広市内で3～4万円（※2万台のところもあるが、木造で寒い）。札幌市内だと5～6万円。それに敷金・礼金・仲介手数料・火災保険料などが発生する。一般的に引っ越し費用は15～20万円の程度は必要。家電製品の購入には10万円以上、家具（タンス・棚）を購入すると、その分も必要。

Q9. 一人暮らしだと経済的には大変？

A9. 毎月の賃金が15万円くらいだとしても、保険料の天引きがあり手元に残るのは12万円くらい。最初の賃金が出るまでの生活費も必要。働きはじめの頃は、生活費としてはぎりぎりなので、経済的に余裕が出てくるまで、保護者による資金面での援助が必要となる場合も。一人暮らしか自宅からの通勤か相談しておくことで応募先がスムーズに決められる。

Q10. ブラック企業はどう見分けるの？

A10. 求人票（高校新卒求人用）を見て、明らかに休みの日が少なかったり、賃金が極端に低かったりすることで見分けられる。離職率についても求人票を見ればわかるので、数字上の状況についてはある程度求人票から判断できる（求人票の見方については3年次で詳しく学習する）。また、本校の卒業生がお世話になっている企業については、企業訪問などをして、実

際に働いている状況や卒業生の声を聞いたりするなどして、継続して情報収集・蓄積をしており、生徒にその情報を提供している。卒業生がいない企業であっても、ハローワークと連携をとって情報提供してもらったり、学校から企業に詳細を問い合わせするだけでなく、教員が企業訪問をさせていただいたりして、実際の企業の様子を見て確認することもある。生徒が受験する前にも必ず「応募前見学」に行かせていただいてから、受験の判断をする。求人票から絞り込んだ上で、4社ほど見学に行き、よりホワイトな企業を慎重に選択する生徒もいる。

Q11. どんな職種の求人があるのか？

A11. サービス、事務、製造など幅広い求人が来ている。昨年度、求人情報があった企業は約550社。福祉や建築関係は求人数が急増している。本校の卒業生は、それぞれの特性を生かして、製造や事務、サービスの職種をはじめ幅広い分野に就職している。

Q12. いつまでに進学か就職を決めるのか？

A12. 2～3年次の選択科目について、説明を聞いたり担任と面談したりする時期が1年次の10月初旬から下旬にかけて。この科目選択の時期が進学か就職かを決める時。例えば、就職で事務を志望する生徒は、簿記や情報関連の科目を選択、大学に進学する場合は、履修が受験条件となる科目や受験科目の科目を選択する必要がある。選択科目の決定は、遅くとも1年次の12月までなので、この時期までに決めることが望ましい。

PTA総会の日、ご多忙で参加できなかった保護者の方で、進路講座の資料をご希望される方は、お子様を通して担任までお知らせください。パワーポイントの資料をお渡しします。

